



おいでん喫茶のメンバー

おいでん喫茶

学生

地域貢献事業

第13回

田原市を拠点に活動している「おいでん喫茶」は、市内の高齢者が集う「爺ちゃん婆ちゃん喫茶」(高松町)と「よってきん会」(田原福祉センター内)へ定期的に訪問する。そこ

でお年寄りとは雑談したり、自分たちで考えたゲーム、体を動かすことをしたりする。高齢者を笑顔にするのが目標だ。校内の落語研究会の協力でもあり、好評だったという。

活動内容は、メンバーの1〜3年生7人がミーティングで決める。「1、2年生も企画、アイデアを出せる雰囲気にする

ただ、マンネリ化打破を意識しすぎた結果、「必要以上に考へさせたり、移動させたり、お年寄りに負担をかけていた」と反省したこともある。加藤さんは「お年寄りが楽しいと思えること、お年寄り目線第一にやっていたい」と、高齢者の存在を忘れないよ

うにする。この地域貢献活動を通じ、メンバーの間で「田原のことを知ろう」というこ

ともなった。地域について学ぶきっかけになり、他の学生にも伝えようとSNSで田原の情

報を発信する。知ること、自分たちの活動のモチベーションにもつながったという。

夏休みには、子どもたちと関わっている他団体の活動を手伝った。「すぐく参考になった」(加藤さん)と刺激を受け、その後の活動に生かしている。

メンバーは、高齢者と接したい学生が多く、祖父母と暮ら

高齢者を笑顔に



折り紙を楽しむ高齢者と学生

※協力・愛知大学 (中村晋也)